



第12回 福島県伊達市× 阿武隈急行線（福島―槻木）

- 開催期間： 2023年8月18日（金）～20日（日）
- 会場： 福島県伊達市
- テーマ： 阿武隈急行を利用した、地元商店街活性化とは
- 参加校： 目黒学院中学・高等学校、東北学院中学校・高等学校、郁文館高等学校、東京農業大学第二高等学校、福島工業高等専門学校、高松中央高校、昭和学院中学高等学校、成城中学校・高等学校、清風南海中学校・高等学校、渋谷教育学園幕張中学校・高等学校、芝学園芝中学校・高等学校
全11校（内オンライン3校）／ 参加人数110名（引率15名/生徒95名うち、リモート9名）
- 後援： 国土交通省、文部科学省、福島県、福島県教育委員会、伊達市、伊達市教育委員会、一般社団法人日本民営鉄道協会、読売新聞東京本社福島支局、福島民報社、福島民友新聞社、福島県私立中学高等学校協会、東京私立中学高等学校協会

2023年8月18日(金) ホスト校 伊達高等学校 交流

■ 交流内容

- ①新聞部 プレゼン
- ②生徒会 桃の食べ比べ

伊達高校玄関と駐輪場には歓迎の看板



伊達高校生と
質疑応答による交流



大溝代表理事 挨拶



伊達高校 高橋文彦校長 ご挨拶



生徒会・新聞部による 伊達高校のプレゼン



桃の食べ比べ



2023年8月18日(金) 車両基地 見学



モーター見学

■行程

グループ毎に分かれて見学

- ◎運転台見学
- ◎車掌体験・ドア操作見学
- ◎車内見学
- ◎車内通報装置見学
- ◎車両整備の解説・見学及びモーター見学

- ◎廃品見学
- ◎レールスクーター乗車体験・モーターカー見学

- ◎廃品じゃんけん大会



レールスクーター乗車体験



須田博行伊達市長 ご挨拶



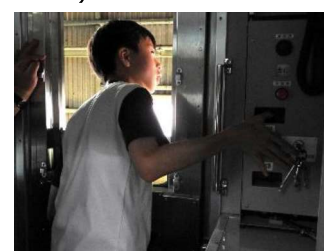
廃品(鉄道部品・過去のヘッドマークなど) 見学



運転台見学(運転台の機器類の説明)



新旧車両比較見学
(8100系とAB900系車両)
車掌体験・ドア操作体験
(乗務員室の車内放送や
ドア操作の体験)
車内通報装置の体験



■参加者全員にプレゼント
3日間の専用乗車券を
ご用紙してください！

2023年8月19日(土) グループセッション～調査研究

■阿武隈急行 グループセッション

駅員のお話、運転部の方々のお話、農家兼業のお話、企画営業のお話等 どれも貴重なお話でした



講話【鉄道と自治体と商店街との取組】
伊達市未来政策部保原総合支所 東城一弘氏

■路面電車を偲ぶ会（代表 安斎武氏）

絵本を各校に1冊ずつプレゼント



伊達市と福島を結んだ路面電車【路面電車を偲ぶ会】特別内覧



東城氏による街歩き（商店街視察）



■沿線調査

専用乗車券を使いホームから撮影



2023年8月20日(日) プレゼン発表～講演

■ 保原中央交流館にて

伊達市 佐藤弘一副市長 ご挨拶



阿武隈急行株式会社

富田政則代表取締役社長 ご挨拶



■ 審査員

- ・審査委員長 阿武隈急行株式会社 代表取締役社長 富田政則氏
- ・伊達副市長 佐藤弘一氏
- ・株式会社東洋経済新報社 編集局 記者 大坂直樹氏
- ・映像プロデューサー 茂野隆之氏
- ・一般社団法人全国高校生地方鉄道交流会 代表理事 大溝貫之



■ 西園寺【鉄道系ユーチューバー】特別講演

関西在住の大学生。

1年生の夏に日本一長い片道切符「最長片道切符」を用いた日本一周旅行を敢行。

半年後に2度目の日本一周旅行に出かけ、

春休みの実家滞在時間は"8 時間"。

長旅を通じて日本の風景の美しさ、また正確かつ安全に人を輸送する公共交通機関の凄さを痛感し、本格的に動画を YouTube にアップするようになる。

事前予約来場者：58名、ライブ配信視聴者：86名

アーカイブ再生回数：2,117回



■ プレゼン風景



企画部門 表彰

■阿武隈急行株式会社 社長賞／成城中学校・高等学校 ※ヘッドマーク制作権



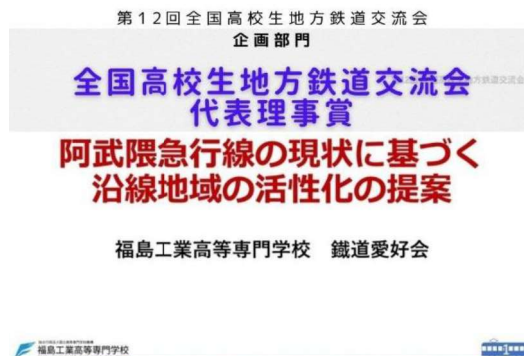
■伊達市長賞／芝学園 芝中学校・芝高等学校 ※副賞：桃の恵み1ケース



副賞



■一般社団法人全国高校生地方鉄道交流会 代表理事賞／福島工業高等専門学校 ※副賞：開催ポスター



写真部門 表彰 ①

- 阿武隈急行株式会社 社長賞「阿武隈急行線沿線に広がる田園風景と山々」
成城中学校・成城高等学校 中学2年 松村優貴 ※副賞：阿武隈急行車内吊り・駅貼り



- 伊達市長賞「盆地を疾走する鉄道」
成城中学校・成城高等学校 高校1年 丹羽 貴之
※副賞：桃の恵み1ケース



- 全国高校生地方鉄道交流会 代表理事賞
「信夫山より」東北学院 中学校・高等学校
高校1年 楠曜瑛 ※副賞：受賞ポスター



写真部門 表彰 ②

■佳作



「Another world」
東北学院 中学校・高等学校 高校2年 石垣 誠



「青い橋」
芝学園 芝中学校・高等学校 中学1年 高橋 陸



「田んぼの月」
成城中学校・成城高等学校
中学2年 阿保奏汰



「あぶきゅうの華」
成城中学校・成城高等学校
中学2年 村橋 純



「羽出庭の山越え」
渋谷教育学園 幕張中学校・高等学校
中学3年 宇根賢汰



「静かな秘境駅」
目黒学院中学校・高等学校
菊池泰史



2023年11月19日 企画部門 ヘッドマーク装着式 ①

■阿武隈急行 梁川駅 ホームにて

【政宗ブルーライナー】ラストランに乗車し、
企画部門 受賞校 成城中学校・成城高等学校 鉄道研究部
写真部門 阿武隈急行株式会社 社長賞 受賞者
梁川駅に到着



須田博行 伊達市長ご挨拶



阿武隈急行株式会社
富田政則 代表取締役社長ご挨拶

■写真部門 阿武隈急行株式会社 社長賞 表彰
タイトル：阿武隈急行線沿線に広がる田園風景と山々
成城中学校・成城高等学校 松村優貴さん



賞状入録 阿武隈急行株式会社 今村駅長



2023年11月19日 企画部門 ヘッドマーク出発式 ②

■ヘッドマーク授与



阿武隈急行株式会社 社長賞 受賞校 成城中学校・成城高等学校 鉄道研究部さんから
阿武隈急行 富田社長にヘッドマークが手渡されました。

梁川駅13：26分発福島行より運行開始

ヘッドマーク装着



広報／パブリシティ ①

■募集案内



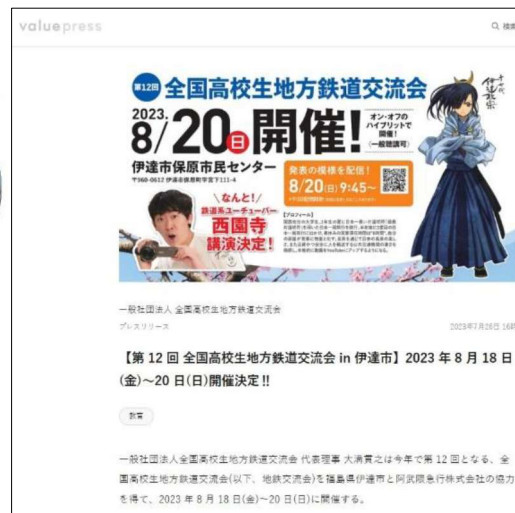
■開催案内



■集合写真



■公式よりプレスリリース 2023年7月26日(水)掲載



■参加賞 缶バッジ×2種



阿武隈急行 つり革



伊達市
オリジナル猪皮キーホルダー

■福島民友新聞社 8月19日



8月21日



▼福島民友ニュース

阿武急沿線空き店舗...ホテルに 全国鉄道交流会、活性化へ提案

2023年08月21日 08時45分

いいね! 0 シェア ツイート



ユニークな地域活性化案を発表する成城中・高の生徒ら

Ads by Google

この広告の表示を停止

広告表示設定 ①

鉄道好きの中高生がローカル鉄道による地域活性化の企画を提案したり、鉄道写真の腕を競うなどする第12回全国高校生地方鉄道交流会は20日、最終日を迎え、伊達市の保原市民センターで企画部門の発表が行われた。各地から集まった生徒が「阿武急急行を利用した、地元商店街活性化とは」をテーマに「若者ならではの視点でアイデアを出し合った」。

一般社団法人の同交流会の主催、同市や阿武急急行の協力でも県で初開催された。本県から福島県高専鉄道愛好会が参加したほか、オンラインを含め県外の9校約100人が発表に臨んだ。

沿線の商店街にある空き店舗を宿泊施設として改築し、観光客の利便性を向上させる「商店街ホテル」などを提案した成城中・高(東京都)が最優秀案として阿武急急行社長賞に輝いた。伊達市長賞には芝中・高(同)が選ばれ、福島高専は沿線周辺の高齢化に着目し、路線やバス、商店街などで活用できるお得な同乗券の導入を提案、同交流会代表理事賞を受賞した。

最優秀の成城中・高には、副賞として車両のヘッドマークをデザインする権利が贈られた。全体講評で富田政則社長は「阿武急急行が抱える課題をしっかりと把握した上でユニークなアイデアが多く、思いが伝わる発表だった」などと述べた。

写真部門の優秀作品は今後ホームページで発表され、同線車内で展示される。

■福島民友社 2023年8月21日(月)掲載

■福島民報社 7月30日



2023年(令和5年)7月30日(日曜日)



■福島民報社 8月21日

■福島民報社 2023年8月19日(土)掲載



一般社团法人 全国高校生地方鉄道交流会

プレスリリース

2023年11月14日 11時

【第12回 全国高校生地方鉄道交流会 in 伊達市】最優秀賞、副賞ヘッドマーク装着式のご案内

教育

企画部門の最高賞となる阿武隈急行社長賞には、福島交通駅線と連携した周遊券の発売や車両の窓を開放する「トロック列車」の運行などを提案した成城中学校・成城高等学校鉄道研究部（東京都新宿区）が選ばれ、副賞として阿武隈急行線車両のヘッドマークデザイン権を授与されました。

■公式よりプレスリリース 2023年11月14日(火)掲載

dmenu ニュース

[d×ニュー](#) > [ニュース](#) > [トレンド](#) > [鉄道](#) > [記事詳細](#)

阿武隈急行 全国高校生地方鉄道交流会ヘッドマーク列車 運転

鉄道コム 11/16(木) 19:49

阿武隈急行は、「第12回全国高校生地方鉄道交流会in伊達市」企画部門最優秀賞の副賞として、オリジナルヘッドマーク掲出列車を運転。AB900系1号車を対象に、成城中学校・成城高等学校鉄道部の生徒がデザインしたヘッドマークを掲出。ヘッド



阿武隈急行 全国高校生地方鉄道交流会
ヘッドマーク列車 運転

ドマーク装着式を実施後、運転を開始。装着式の開催日は、2023年11月19日（日）。同日以降、2か月間運転。 ■dmenuニュース 鉄道コムより 2023年11月16日(木)掲載

■dmenuニュース 鉄道コムより 2023年11月16日(木)掲載



L ヘッドマーク装着に立ち会う秋山部長（左）と松村さん
 © 福島県報社

第12回全国高校生地方鉄道交流会の企画部門最高賞に輝いた成城中・高鉄道研究部（東京都）がデザインした阿武隈急行のヘッドマーク装着式は19日、伊達市梁川町の阿武隈急行梁川駅で行われた。

今年8月に伊達市で開かれた交流会で、同研究部は最高賞の阿武隈急行社員賞を受け、ヘッドマークのデザイン権を得た。伊達の橋梁や田舎を走る列車、宮城県角田市のロケット模型などを描いた2種類をデザインした。

式には阿武隈急行の田代政則社長、須田博行市長らが出席。研究部の秋山満太郎部長（成城高2年）と松村候倉さん（帝中2年）が田代社長にヘッドマークを手渡した。秋山部長は「広大な自然に溶けこけ車両を埋めたヘッドマークを、ぜひ見に来てほしい」と述べた。秋山部長らがヘッドマークの取り付け作業を見守った。

映写した車両は2カ月間、運行される。交流会の写真部門入賞作品も全車両に展示されている。

■福島民報社 2023年11月19日(日)掲載

動画

写真



 **2nd-train 鉄道写真ニュースサイト** 
@2nd train plus

[鉄道イベント情報]【阿武急】「第12回全国高校生地方鉄道交流会最優秀校デザインヘッドマーク」を取り付け開始を追加しました。



午後9:42・2023年11月17日・1,719 件の表示

■Twitter 鉄道情報アカウントにてヘッドマーク授与式の情報が開

阿武隈急行に「ヘッドマーク」装着 東京・成城中高生デザイン

11/26(日) 11:15 配信 5

福島民友



装飾式に臨む秋山部長（右から3人目）と松村さん（同4人目）

伊達市で8月に開かれた「第12回全国高校生地方鉄道交流会in伊達市」で、企画部門最高賞の阿武隈急行社長賞に輝いた成城中・高鉄道研究部（東京都）がデザインしたヘッドマークの装着式が19日、同市の梁川駅で行われた。

同邸は、福島交通飯坂線と連携した周遊券の発売や車両の窓を開放する「トロック列車」の運行などを提案して社長賞を受賞、副賞として車両の先頭部に装着するヘッドマークのデザイン権が贈られた。ヘッドマークは、車両と田園風景を描いたものと、沿線の伊達市の桃と宮城県角田市んだデザインの2種類。

式には阿武隈急行の富田政則社長と須田博行市長らが出席。同部の秋山漢太郎部長（成城高2年）と松村優貴さん（成城高2年）が富田社長らにヘッドマークを手渡した。秋山部長は「都市部の鉄道にはない田園風景、そしてロケットのように飛翔（ひしょう）し発展することを願いデザインした。ヘッドマークをぜひとも見に来てほしい」とあいさつした。

ヘッドマークを装着した車両は約2カ月間運行される。同交流会の写真部門入賞作品も全車両で展示されている。

福島民友新聞

■福島民友社 2023年11月26日(日)Yahooニュースにて掲載

フォローアップ企画

Check! フォローアップ

全国高校生地方鉄道交流会@伊達市

全国高校生地方鉄道交流会

<https://chitetsukonyu.org/>

2023年8月18日（金）から20日（日）にかけて、伊達市で「第12回全国高校生地方鉄道交流会」が開催されました。

全国高校生地方鉄道交流会は、高校生が沿線地域に学び、交流をはかりながら、対象路線を基軸とする地域活性化案をたて、企画として発表するイベントです。今回のテーマは「阿武隈急行を利用した、地元商店街活性化とは」。全国11校の高校生が伊達市に集い、阿武隈急行線沿線を舞台に調査、企画、発表力を競い合いました。

参加した高校生はどんな様子で、発表ではどんなアイデアが飛び出したのか？支援センターは、主催団体の代表をお招きして、地元・伊達市の私たちと一緒に、今般のイベントの“振り返り”をしていただくことにしました。交流会からヒントを得て、後に事業化された例も全国に数多くあるそうです。楽しいお話が聞けそうですね。

【日時】令和5（2023）年10月25日（水）午後2:00～

【場所】保原中央交流館大会議室（3階）伊達市保原町字宮下111-4

【講師】一般社団法人 全国高校生地方鉄道交流会 代表理事 大満 貴之 氏

参加無料。お申込みをお願いします。
お問い合わせは伊達市市民活動支援センターまで。024-563-6970

■地方鉄道交流会フォローアップイベント アンケート結果集約

【今回イベントへの意見・感想】

○高校生の提案に関して

- ・高校生のいろいろな意見が聞けて、大変勉強になった
- ・高校生のアイデアや活動が頼もしく思った
- ・今回の企画により、高校生の提案企画がより現実的なものになっていくことを期待する
- ・高校生のアイデアを、鉄道会社・住民・行政が連携して、うまく実現に向け取り組むことが重要
- ・高校生がやってみたと提案したことを、期間限定でも試しにやってみたらよい。
- うまい・いかに別として

○地方鉄道と地域活性化に関して

- ・阿武隈急行線を深く考えることができた
- ・鉄道についてもあぶきゅうについても知らないことが多く、非常に勉強になった
- ・自分のまちのことを考えるよい機会になった
- ・地方鉄道（あぶきゅう）だけでもたくさんのアイデアが出ることに驚いた
- ・普段話を聞く機会のない方たちと意見交換できてよかった
- ・地方鉄道の経営が厳しい状況の中、今後ますます人口減少が進み、利用者減が予想される。通勤通学の需要だけでは存続が難しいと考えられ、地域活性化と結びつけて考えていくことは大切であり、とても有意義なイベントと思う
- ・こういう講演・討論会に参加して皆さんと久しぶりに会えて、コロナ明けまで生きてよかったと思った。改めてステキな地域になるよう、皆さんと考え、協力しあっていきたい

○ワンモア提案

- ・高校生の提案をもっと詳しく聞きたかった
- ・参加者の幅をひろげてほしい。中高生も参加できるように考えて
- ・あぶきゅう駅周辺の企業などもっと参加したほうが良い
- ・本当は第2部のグループ座談会こそ多数参加してもらえると良かった

【今回のイベントの今後の展開】

○賛同・応援意見

- ・出た考えを生かしていったほしい
- ・提案されたアイデアから試験的に実施できそうなものを「やってみる」につなげてほしい
- ・実現可能なものから、失敗を恐れずどんどん取り入れてほしい

○継続発展形提案

- ・定期的な開催を県全体で考えてほしい
- ・高校の課題解決型授業との連携
- ・高校生の企画を土台に、様々な関係者によるワークショップの実施
- ・あぶきゅうと商工会等との企画提案・情報交換
- ・保原駅の利活用（賑わい創出イベントの実施など）と鉄道を中心としたまちづくり
- ・鉄道を活力とした地域活性化や住民のマイレール意識の向上をめざす

○ワンモア提案

- ・いろいろなアイデアはあるが、それを実現するにはやはりお金がかかるので、そこが課題。少しでも活性化でき、あぶきゅうを残していけるよう応援したい
- ・伊達市に来る目的が何かに重点を置くほうがいい。移動手段としての電車は、それに乗ること自体が駅に来る目的にはなりえなさそう
- ・商工会が伊達市に2つあるのはどうか。活動が分散してしまう



検索



伊達市ケーブルテレビ「フォローアップ企画 全国高校生地方鉄道交流会in伊達市」

